

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会

開催趣意書

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会

大会長 比江島誠人

(医療法人横田会向陽台病院 院長)

ご挨拶

謹啓

この度、第 47 回アルコール関連問題学会学術総会を 2025（令和 7）年 9 月 5 日（金）-9 月 6 日（土）の 2 日間、熊本市にある市民会館シアーズホーム夢ホールで開催させていただくことになりました。九州での開催は 2020（令和 2）年に新型コロナ感染症のため第 42 回福岡大会が中止・紙上開催となったため、2011（平成 23）年の第 33 回佐賀大会以来、14 年振りとなります。

私が初めて日本アルコール関連問題学会の運営に関わったのは 2003（平成 15）年 5 月 30 日-5 月 31 日にシーガイア ワールドコンベンションセンター・サミットで開催された第 25 回日本アルコール関連問題学会 宮崎大会でした。大会は盛況で、運営や参加者の熱意は素晴らしいものでした。当時はアルコール依存症に対する認知行動療法前夜で、ギャンブル依存症等の行動嗜癖は俎上に載せられることはなく、かろうじて薬物依存に関する分科会が開催されましたが、世間も社会も医療も教育も「違法薬物乱用には刑罰」という意見が大勢を占めていたと思います。私は亡き近藤恒夫さんとともに分科会 1 の座長を務めさせていただきました。

それから 15 年経った 2018（平成 30）年 6 月に公表された ICD-11 では「依存症」は物質使用症又は嗜癖行動症群というカテゴリーとなり、ギャンブル行動症やゲーム行動症といった嗜癖行動が物質使用症と同じ診断カテゴリーに位置付けられました。そして依存症の治療・支援にあたっては、公衆衛生上のハームリダクションという考え方で国民の健康を改善するという施策が、個人への治療選択肢として応用され、アルコール依存症の治療に減酒治療も選択肢となりました。

少し時間が過ぎますが、アルコール依存症治療に取り組む先達や仲間の熱意で 2013（平成 25）年 12 月アルコール健康障害対策基本法が成立しました。

薬物についてはメディアでも「アルコールは病気だけど薬物は犯罪だから刑務所へ」という意見はほとんど聞かれなくなり、多くの都道府県には薬物依存症専門医療機関が選定されています。刑法も改正され刑の一部執行猶予制度（2016（平成 28）年 6 月施行）ができて薬物乱用者/依存症者が早めに社会復帰し、回復に資するプログラムを受けやすくなりました

ギャンブル等依存症対策基本法（2018（平成 30）年 10 月）が施行され、第四条には「アルコール、薬物等に対する依存に関する施策との有機的な連携の配慮」が必要とされています。決して十分とは思いませんが、この 20 年で「依存症」の世界が大きく変わったのは、医療者、当事者・回復者、家族、関係機関など依存症に関わる全ての人の熱意が灯火となり、国を照らしているのだと思います。

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会では、多くの準備委員、プログラム委員が熱意をシェアし、各地で灯火となっている人にスポットライトをあてた分科会が開催できるよう願い「一隅を照らす」というテーマとし、基調講演・特別講演を依頼しました。

基調講演『一隅を照らす アフガニスタンで命を支えた中村哲』（村上優先生）

特別講演『ハンセン病問題の解決をともに』（八尋光秀先生 弁護士）

熊本大会が依存症治療に取り組む全ての医療者、当事者、家族に加えて、現代の日本で生きる全ての人の心に残る灯火となるよう願っています。

本来ならば総会の開催につきましては、参加費等の自己資金で賄うべきところですが、開催の目的を達成するには、会場設営や総会運営に多額の費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては、厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本総会の開催の意義と事情をご賢察の上、ご高配賜りますようお願い申し上げます。なお、ご協賛いただきました共催費につきまして、各社が公表することについて了承いたします。末筆ではございますが、皆様の今後益々のご発展を心より祈り申し上げます。

謹白

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会
大会長 比江島誠人（医療法人横田会向陽台病院 院長）



学術総会概要

名称

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会

大会テーマ

一隅を照らす

会長

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会
大会長 比江島誠人（医療法人横田会向陽台病院 院長）

事業期間

2025 年 9 月 5 日（金）～ 6 日（土）

会場

市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本県熊本市中央区桜町 1 番 3 号）

ホームページ

<https://alcohol2025.secand.net/>

目的と意義

日本アルコール関連問題学会はアルコール関連問題の改善に寄与することを目的とし、研究発表、知識および技術の交換、予防活動、会員相互ならびに関連諸学会との連携協力を行なうことなどにより、我が国のアルコール関連問題の解決に貢献するために設立された。2025 年は熊本から発信する。

今学会のテーマは「一隅を照らす」。精神科医療、中でも依存症は偏見と誤解に溢れ、光が当たりにくい領域である。

近年、10 代の自殺が増えており、中高生のメンタルヘルスは喫緊の課題と考えられる。養育者の依存症や若者の危険な「自己治療」にも光を当て、医療者と教育界で協働して対策に取り組みたいと考える。

正しい知識、適切な医療、支援。そして回復の実際を医療や福祉の現場から参加者に届けたい。

プログラム

特別講演、教育講演、シンポジウム、一般演題(口演・ポスター)、共催セミナー、分科会、機器・試薬・書籍等展示会

予定参加人数

800 名（予定）

事業組織

第47回 日本アルコール関連問題学会

大会長 比江島誠人 医療法人横田会向陽台病院

事務局長 武藤岳夫 医療法人横田会向陽台病院

<プログラム委員会>

松下幸生 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

杠岳文 筑後吉井こころホスピタル

木村充 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

成瀬暢也 埼玉県立精神医療センター

米良貴嗣 八幡厚生病院

真栄里仁 独立行政法人国立病院機構 琉球病院

吉本尚 筑波大学

白坂知彦 手稲溪仁会病院 精神保健科

佐久間寛之 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

米山奈奈子 秋田大学大学院医学系研究科保健学

<準備委員会>

松下幸生 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

杠岳文 筑後吉井こころホスピタル

木村充 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

和気浩三 医療法人和気会 新生会病院

加賀谷有行 医療法人せのがわ KONUMA 記念依存とこころの研究所

成瀬暢也 埼玉県立精神医療センター

角南隆史 佐賀県医療センター好生館

福田貴博 あきやま病院

真栄里仁 独立行政法人国立病院機構 琉球病院

キャンセルポリシー

申込み受理後は、組織委員会が不可抗力と認めた事象以外は原則解約することはできません。組織委員会が解約を認めた場合には、出展解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いください。

*解約料金

申込締切日までに受領した場合...請求額(協賛料金)の50%をお支払いください。

申込締切日以後に受領した場合...請求額(協賛料金)の全額をお支払いください。

天災・その他のやむを得ない事情、並びに主催の責任に帰し得ない原因により、大会および展示会の開催を変更・中止する場合があります。この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。前述の原因により開催中止、又は開催形式が変更になった場合は、主催は協賛各社に対し、共催費・協賛費から準備費用を除いた金額を算出し、請求又は返金致します。

透明性ガイドラインに関する同意について本学会では、本学術集会(寄付金)に関して、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」に基づいて情報公開することに同意いたします。

なお、別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、予めご了承ください。

事務局

〒861-0142 熊本市北区植木町鑑田 1025

医療法人横田会向陽台病院

運営事務局

第47回日本アルコール関連問題学会 運営事務局

(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷 1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188

FAX 096-373-9191

mail alcohol2025@higo.co.jp

寄付金募集要項

寄付金の名称

第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 寄付金

寄付金期間

2024年11月1日（金）より2025年9月4日（木）まで

寄付金目標額

300万円

寄付金の対象

一般企業、日薬連、民間財団、医療機関等

寄付金の用途

第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

申込方法

本事業の趣旨にご賛同いただける場合は、別紙申込書よりお申し込みください。

振込先

銀行名 肥後銀行

支店 水道町支店 152

口座番号 普通 2777638

口座名 第47回日本アルコール関連問題学会 代表 比江島誠人

口座名（カナ） ダイ47 カイニホンアルコールカンレンモンダイガツカイ

*上記振込先への寄付については、免税処置はありません。

問合わせ先

第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 運営事務局

（株式会社コンベンションサポート九州）

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷 1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188

FAX 096-373-9191

mail alcohol2025@higo.co.jp

共催セミナー募集要項

名称

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 共催セミナー

開催日程

2025 年 9 月 5 日（金）・6 日（土）

会場および共催費

市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本県熊本市中央区桜町 1 番 3 号）

セミナー形式 日時(予定)・席数・共催費・枠数

<ランチョンセミナー> 12:00~12:50 (予定)

2025 年 9 月 5 日（金）大ホール（800 名 300 食）110 万円（税抜）1 枠

2025 年 9 月 5 日（金）大会議室（250 名 150 食）60 万円（税抜）1 枠

2025 年 9 月 6 日（土）大ホール（800 名 300 食）110 万円（税抜）1 枠

2025 年 9 月 6 日（土）大会議室（250 名 150 食）60 万円（税抜）1 枠

<スponsoredセミナー>

9 月 5 日（金）時間帯未定 60 分（予定）800 名 150 万円（税抜）1 枠

9 月 6 日（土）時間帯未定 60 分（予定）250 名 110 万円（税抜）1 枠

座長および演者の選出

共催企業より候補者をご提案ください。

座長と演者への交渉は総会からの採否通知後に始めてください。

注意事項

申込状況により、ご希望に添えない場合がございます。また会場の収容人数は、会場レイアウトの調整の都合上若干の変更がありますので、予めご了承下さい。

ご請求書はセミナー枠の決定後、運営事務局より送付させていただきます。

共催費に含まれるもの

- ・会場費
- ・会場既存の講演用機材(PC プロジェクター、スクリーン等)
- ・音響、照明関係費
- ・講師控室
- ・10 名程度が入る控室をセミナー開催日にご用意致します。また、ご利用頂ける時間は学会が指定致します。

共催費に含まれないもの

- ・セミナー会場内の飲食費（ランチョンセミナーは参加者に飲食をご提供頂くことを想定しております。会期 1 カ

月前頃に料金表等を記載した、ご注文書をお送り致します。)

- ・控室内飲食費
- ・会場既存以外の特種な機材関係費(音声ライン、ビデオ撮影、収録等)
- ・看板装飾費
- ・運営人件費(会場係、進行係等)
- ・座長および講演者の謝礼金、旅費、宿泊費

共催費振込先

銀行名 肥後銀行

支店 水道町支店 152

口座番号 普通 2777638

口座名 第47回日本アルコール関連問題学会 代表 比江島誠人

口座名(カナ) ダイ 47 カイニホンアルコールカンレンモンダイガツカイ

共催証

1社につき10枚お渡しします。それ以上の枚数をご希望の場合、受付にて参加費のお支払いをお願いします。

申込み期限

2025年6月30日(月)

申込み方法

学会ホームページよりお申込みください。

お問い合わせ先

第47回日本アルコール関連問題学会 熊本大会 運営事務局

(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188

FAX 096-373-9191

mail alcohol2025@higo.co.jp

広告募集要項

1. 広告メニュー

1) プログラム抄録集広告

仕様 B5 縦 160 部(予定) および PDF による配信
抄録集発行予算 2,000,000 円 (税抜)

広告料金(金額は、消費税込み)

表紙 4 カラー1 頁	15 万円 (税抜)	1 枠
表紙 2 カラー1 頁	10 万円 (税抜)	1 枠
表紙 3 カラー1 頁	10 万円 (税抜)	1 枠
後付 モノクロ1 頁	5 万円 (税抜)	4 枠
後付 モノクロ 1/2 頁	4 万円 (税抜)	6 枠

* 表紙 2、3、4 については、複数のお申込みがあった場合、先着順にて決定させていただきます。
ページ割決定後に請求書を発行致します。

原稿提出期限 2025 年 5 月 31 日(土)

2) ホームページバナー広告

URL <https://alcohol2025.secand.net/>
コンテンツ TOP ページ/開催概要/会長挨拶/プログラム/演題募集/参加登録/参加者への案内
座長・演者への案内/アクセス 等
掲載期間 申し込み後 1 週間以内~2025 年 9 月 20 日(土)
募集数 2 件
掲載費用 10 万円(税抜)
掲載箇所 TOP ページ下
掲載サイズ W190px×H60px
入稿形式 GIF(アニメ、無限ループ可)、JPEG、指定 URL へのリンク可

3) スクリーン動画広告

仕様 講演会場のセッション開始前や休憩中にスクリーンへ広告スライド投影
募集数 2 件
掲載費用 15 万円(税抜)
入稿形式 PowerPoint(1 社につき 20 秒程度、音声なし)
原稿提出期限 2025 年 8 月 31 日(日)

2. 原稿提出方法

広告原稿、データのいずれかを下記運営事務局までメールまたは郵送にてお送りください。

3. 広告申し込み期限

2025 年 5 月 31 日(土)

4. 申込み方法

学会ホームページ (<https://alcohol2025.secand.net/>) よりお申込みください。

5. お問い合わせ先

第 47 回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 運営事務局

(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷 1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188

FAX 096-373-9191

mail alcohol2025@higo.co.jp

企業展示募集要項

1. 名称

第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 付設展示会

2. 展示会スケジュール(予定)

搬入	2025年9月4日(木) 16:00-18:00
展示	2025年9月5日(金) 9:00-17:00
	2025年9月6日(土) 9:00-16:00
搬出・撤去	2025年9月6日(土) 16:00-17:00

3. 会場

市民会館シアーズホーム夢ホール (熊本県熊本市中央区桜町1番3号)

4. 募集小間数(予定)

5小間

5. 出展料金(金額は、消費税込み)

企業展示:15万円(税抜)/小間

《出展料金に含まれるもの》

1. 所定小間使用料
2. 基礎小間設営料

《出展料金に含まれないもの》

1. 基礎小間以外の小間設営料
2. 小間内装飾料
3. 電話・通信回線料等の工事料および使用料
4. 電気工事代
5. 水道・光熱代
6. 出展ブース関係人件費、維持費、要員旅費、およびサービスに関わる費用(備品等)
7. その他設営・管理に関する一切の諸費用

6. 企業展示基礎小間

サイズ: 間口 1,800mm×奥行 900mm×高さ 2,100mm

バックパネル: システムパネル ※両面テープ、釘などは使用できません。

社名板: 1枚(統一書体)W900mm×H200mm

展示台: 長机 2本 W1,800mm×D900mm×H700mm ※予定

*スペース小間にてお申込みの場合は、床面に墨出しした上でお引渡しいたします。(その場合、バックパネル、袖パネル、社名板、蛍光灯等は設置されません。)

7. 小間割

出展申込書を受付後、出品物の種類・形状・小間数等を考慮の上、出展者にご連絡いたします。

8. 電気

電気を必要とされる場合は、お申込みの容量を用意いたしますので、別紙申込書にご記入ください。料金等、詳細については、2025年8月上旬頃に送付予定の「出展の手引き」をご覧ください。

9. 出展証

1 小間につき 2 枚お渡しします。それ以上の枚数をご希望の場合、受付にて参加費のお支払いをお願いします。

10. その他

- 各出展物の管理は出展者が持つものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・災害に対して補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。
- 出展申込み受付後、会期終了までに請求書を発行いたします。

11. 申込み期限

2025年6月30日(月)

12. 申込み方法

学会ホームページ (<https://alcohol2025.secand.net/>) よりお申込みください。

13. お問合わせ先

第47回 日本アルコール関連問題学会 熊本大会 運営事務局

(株式会社コンベンションサポート九州)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷 1-14-35 クロススクエア熊本九品寺 7F-F

TEL 096-373-9188

FAX 096-373-9191

mail alcohol2025@higo.co.jp